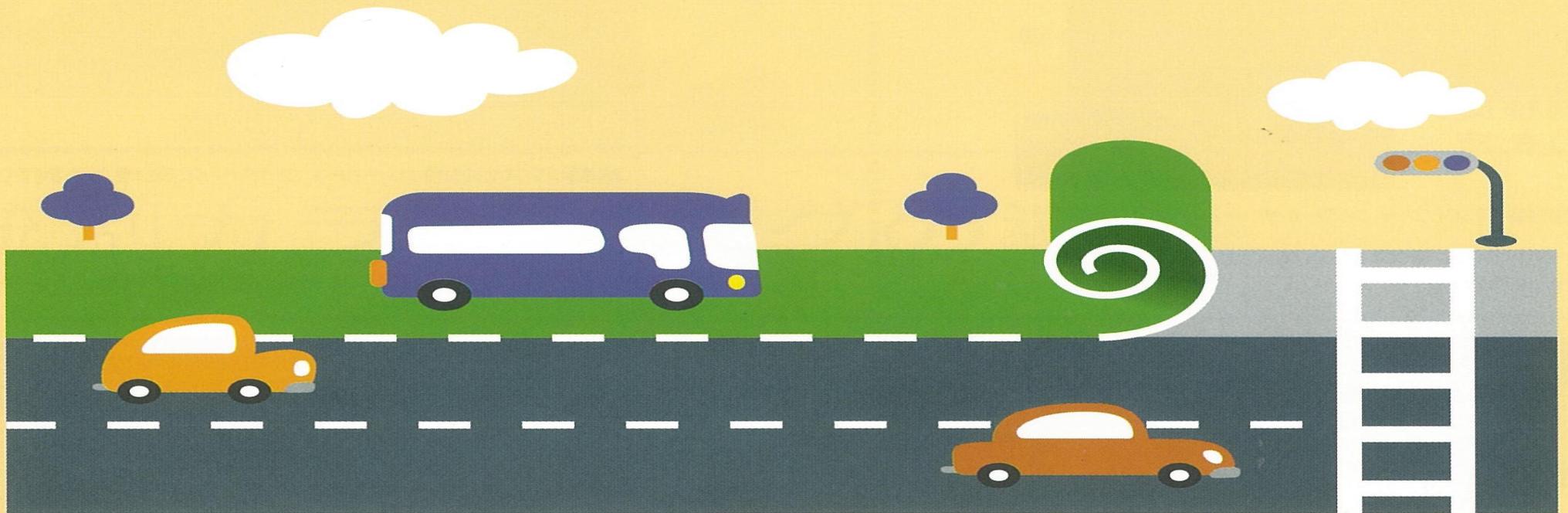




沖縄県の公共交通の現状・課題及び 交通渋滞対策、鉄軌道の導入等について

令和8年1月30日





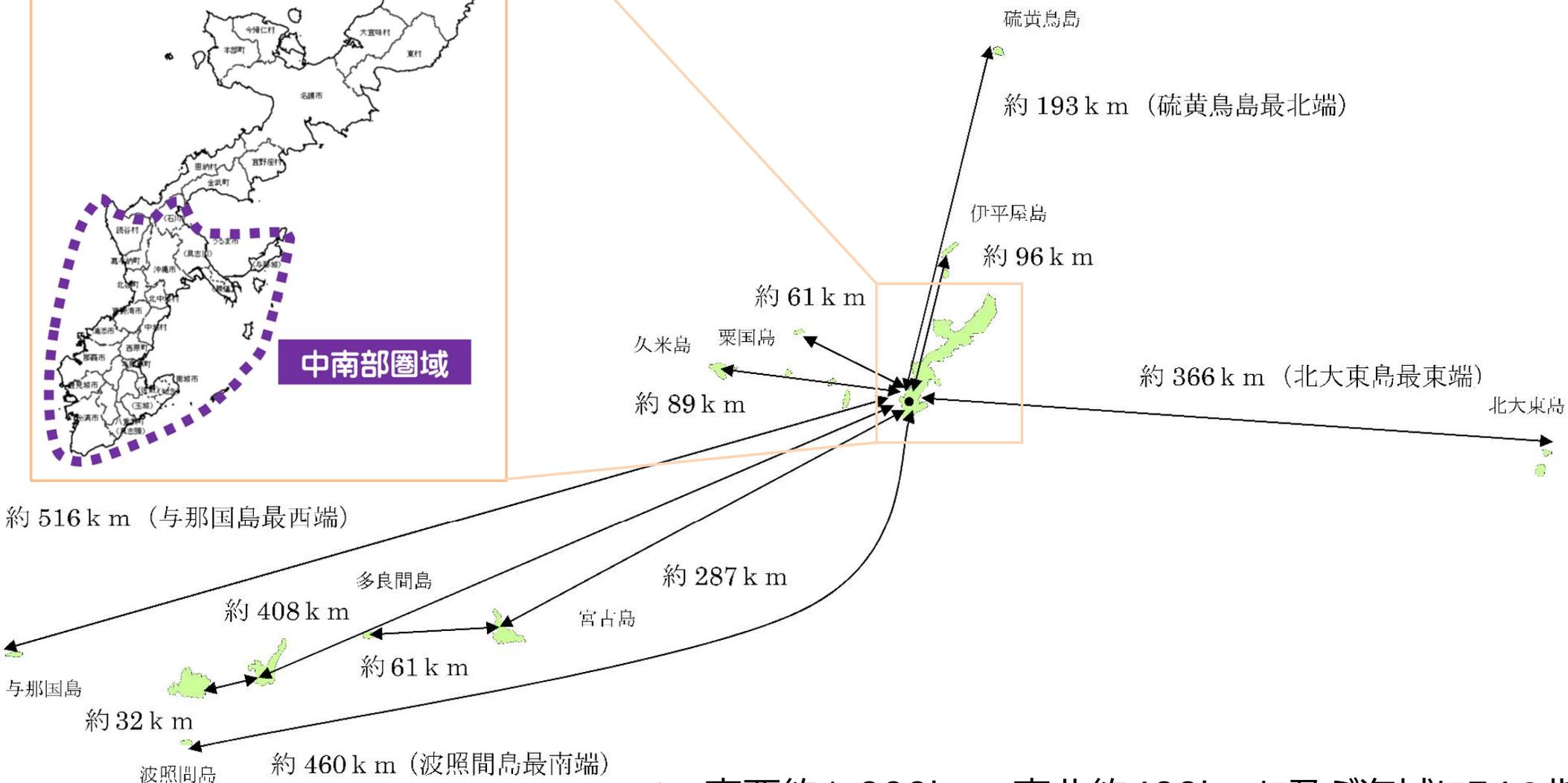
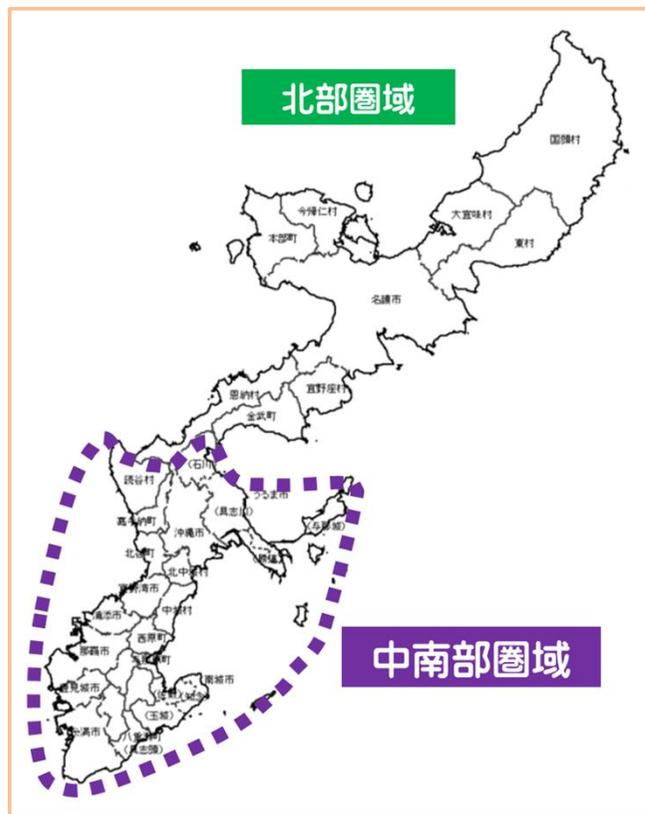
1. 沖縄県の概況

2. バス関連

3. 離島航路・航空路関連

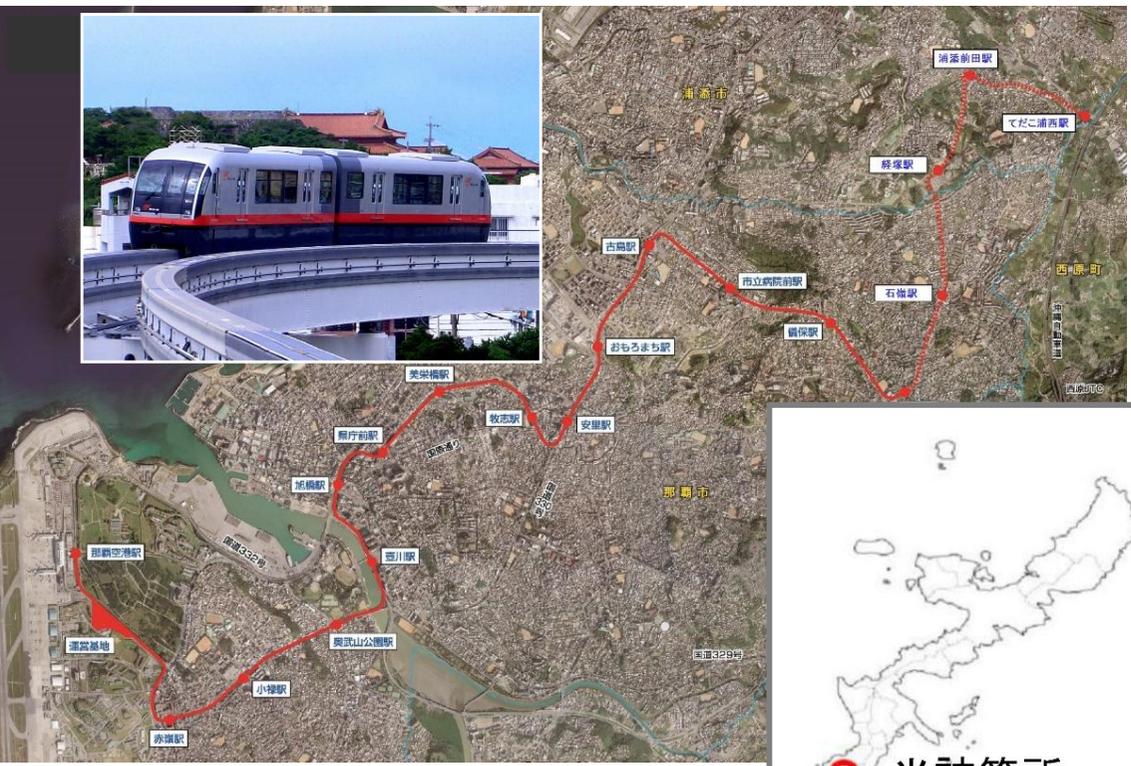
4. 鉄軌道関連

1. 沖縄県の概況 (島しょ概況)



- 東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ海域に54の指定離島を含めた多数の島々が点在
- 指定離島のうち、有人離島が38島、無人離島が16島

1. 沖縄県の概況 (限られた公共交通の背景)



- 平成15年8月に沖縄都市モノレールが開業
- 令和元年10月に延長区間開業
- ⇒唯一の定時・定速の公共交通機関
- ⇒那覇市、浦添市の一部で運行
- ⇒営業距離は16.9km

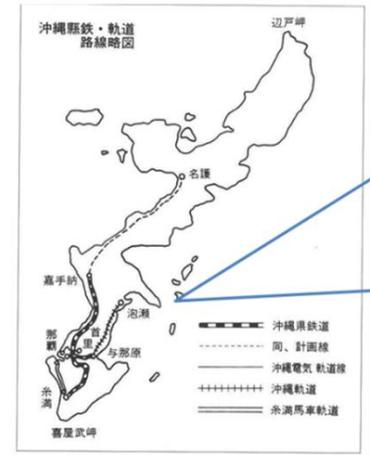


- 戦前には沖縄県軽便鉄道が存在 (総延長約48km)
- ⇒先の大戦で壊滅され、その後、復旧されず。



沖縄軽便鉄道路線図

嘉手納線(那覇→嘉手納駅)約23.6キロ
 与那原線(那覇→与那原駅)約9.8キロ
 糸満線(那覇→糸満駅)約18.3キロ
 棧橋線(那覇→棧橋)約1キロ



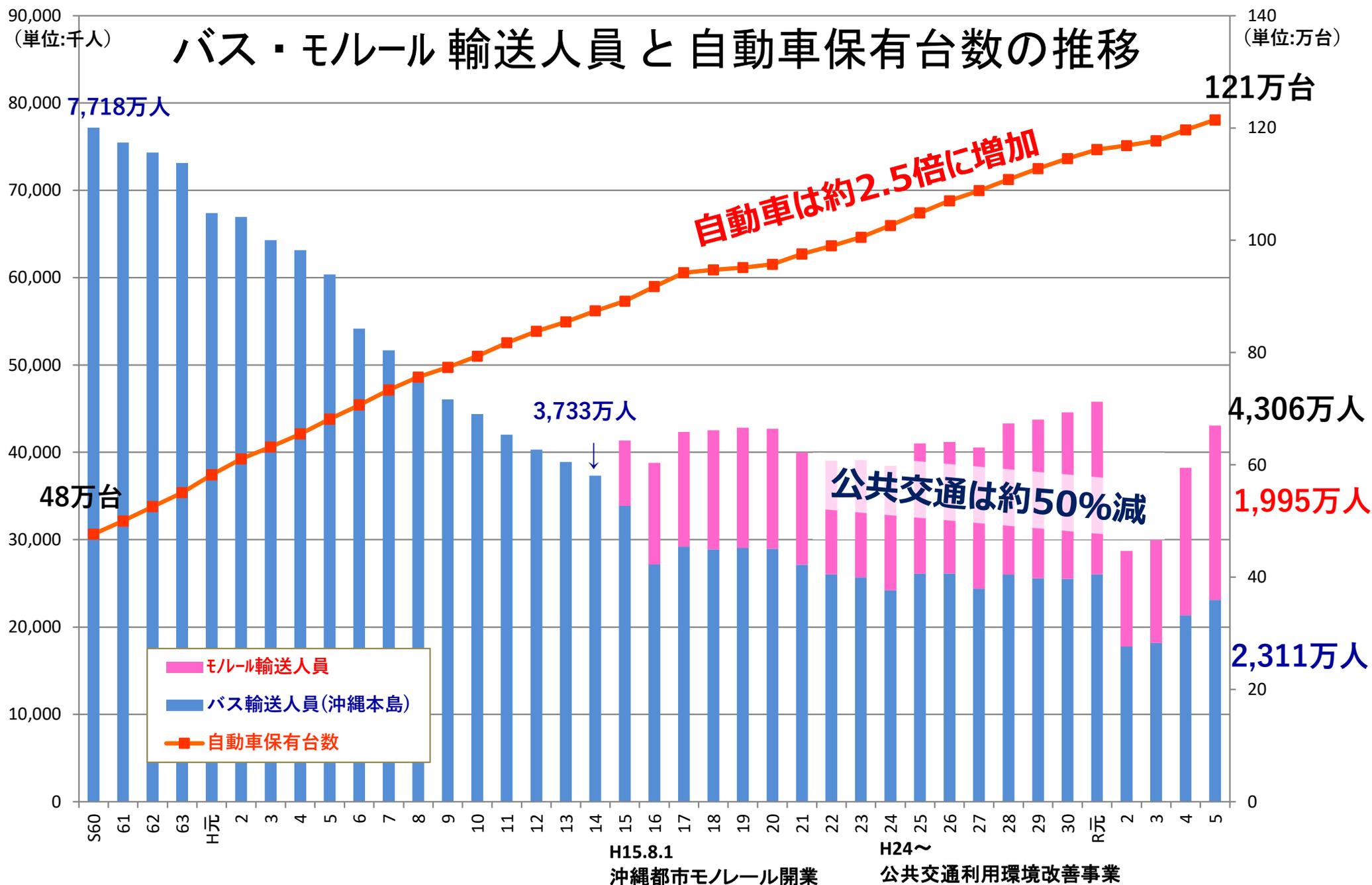


1. 沖縄県の概況

2. バス関連

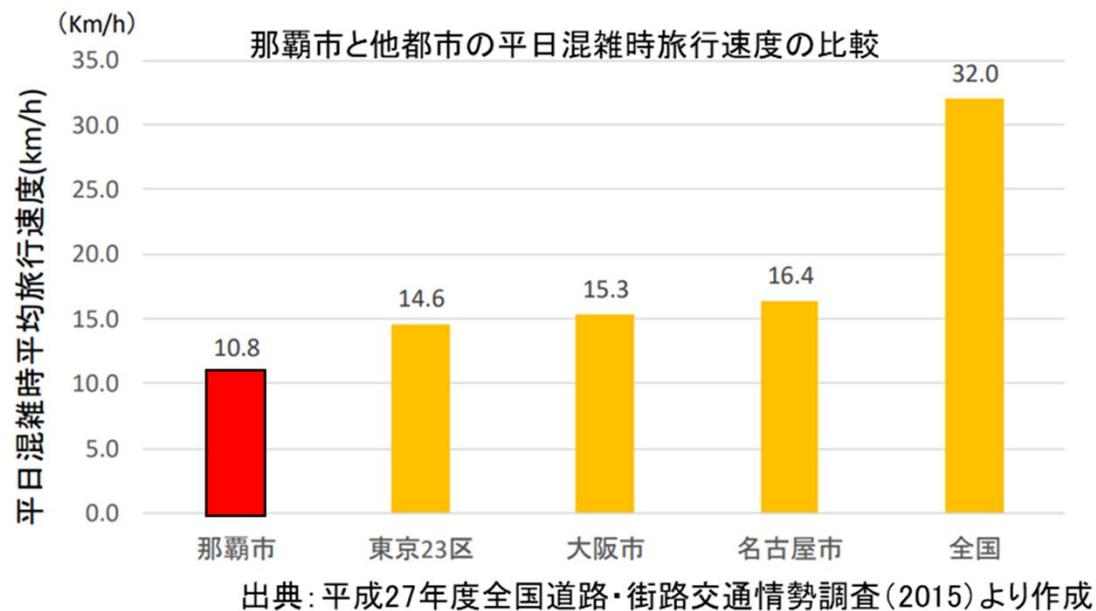
3. 離島航路・航空路関連

4. 鉄軌道関連



- 那覇市の平日混雑時旅行速度は**三大都市圏よりも低い**。

- 路線バスは、交通渋滞の影響を受ける。
- 朝ピーク時間帯の影響は、最大約30分。**



各地から那覇BT向けの路線バスの朝ピーク時とオフピーク時の所要時間比較表

起点	終点	系統番号	所要時間		所要時間差
			ピーク	オフピーク	
読谷BT	那覇BT	29	ピーク	96分	12分
			オフピーク	84分	
具志川BT	那覇BT	21	ピーク	121分	27分
			オフピーク	94分	
泡瀬営業所	那覇BT	30	ピーク	128分	24分
			オフピーク	104分	
泡瀬営業所	那覇BT	31	ピーク	129分	22分
			オフピーク	107分	
百名BT	那覇BT	51	ピーク	68分	14分
			オフピーク	54分	
糸満BT	那覇BT	89	ピーク	63分	6分
			オフピーク	57分	
糸満BT	那覇BT	35	ピーク	68分	13分
			オフピーク	55分	

※バス事業者の時刻表から作成

(県交通政策課調べ)

※上段は朝ピーク時間（8:30前後に那覇BTに到着する便を対象）

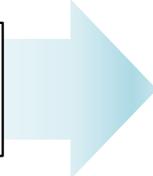
下段はオフピーク時間（10時～12時頃出発の便を対象）

バスサービスレベル向上に向けた取り組み



バスサービスレベル
(定時性・便数等) 低下

バスサービスレベル
(定時性・便数等) 向上



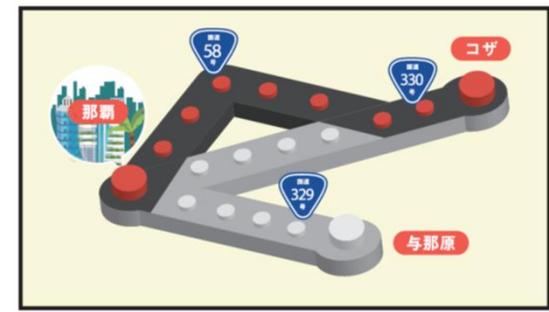
○基幹バスシステムの導入に向けた継続的な取り組み

✓高い輸送力、走行性、快適性を備えた軌道系交通システム
並みのグレードを備えたバスシステム

⇒定時性、速達性の向上

バスレーンの延長

- ・定時速達性の確保
- ・過度な自動車利用を抑制



○利用環境改善

✓バスの走行性、乗降性、待合環境の改善
⇒乗降性、待合環境等の向上

バス停のグレードアップ

- ・上屋及びベンチの設置
- ・分かりやすい時刻表

ノンステップバスの導入

- ・すべての利用者の快適性向上
- ・乗降分離による停車時間の短縮

IC乗車券システムの導入

- ・乗継割引等の実施
- ・乗降時間の短縮

バスロケシステムの導入

- ・バス接近情報(系統、到着時間)
- ・乗換案内情報



事業目的

県民に路線バスを利用する機会を提供することで、車にはないバスならではの良さを体験してもらい、過度な自家用車利用から適度なバス利用への転換を促進する。



令和6年度取組概要

- 路線バスの運賃を終日無料
- 9月4日（水）から29日（日）までの毎週水曜日と日曜日の 計8日間

対象について

- 沖縄県内（離島含む）の一部を除く、ほぼ全ての路線バス及びコミュニティバスを対象とする。
 - ▶ 琉球バス、那覇バス、沖縄バス、東陽バス、東京バス等の本島を運行する路線バス
 - ▶ 伊江島観光バス、宮古協栄バス、東運輸等の離島を運行する路線バス
 - ▶ 県内市町村が運行するコミュニティバス

※ 「リムジンバス」、「定期観光バス」、「高速道路を走行するバス（系統番号111番や117番等）」等は対象外



【お問い合わせ】
交通政策課
098-866-2045

✓事業開始日には、県内各局のニュース番組で報道

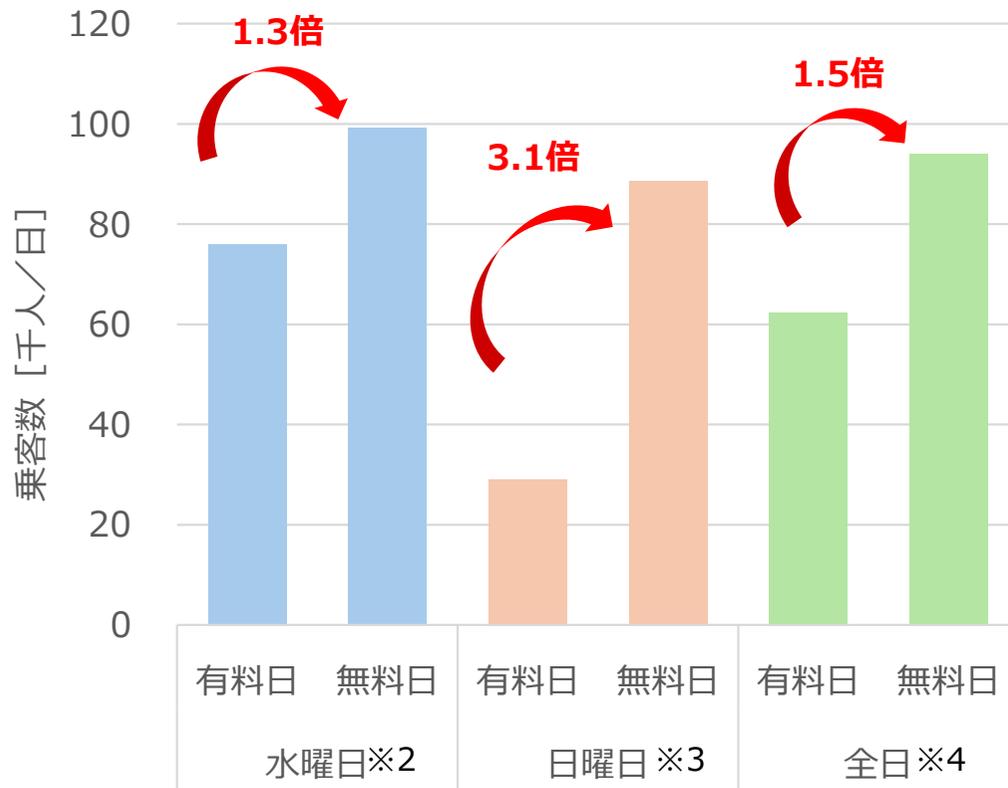


✓事業実施日のバス停状況

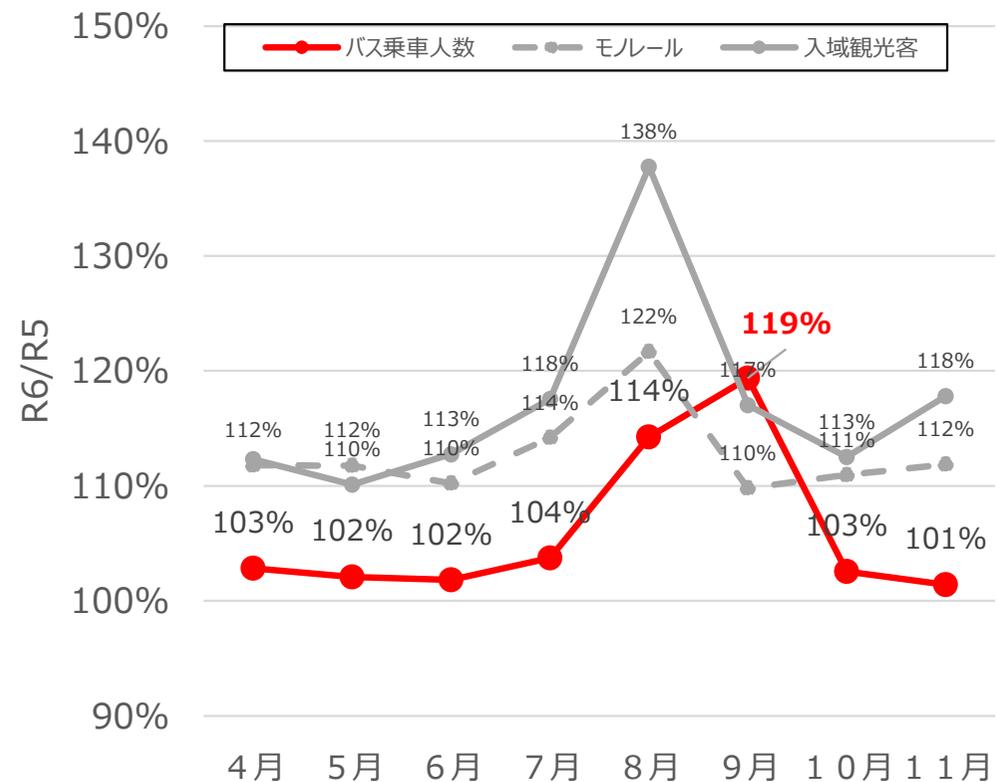


- ✓ 乗車体験事業に参加した本島の路線バス事業者における乗客数の推移は以下の通り。
 - 無料日の水曜日平均では**1.3倍**、日曜日平均では**3.1倍**、水曜日と日曜日平均では**1.5倍**に増加した。
 - 前年同月と比較すると、8月は14%増加に対して、**9月は19%増加**した。（これは、観光客数が8月で38%増、9月で17%増であり、バス乗客数の増加率と逆相関になっていることから、**本事業の効果によるものと推定**できる。）

バス乗客数の変化 ※1



バス乗客数等の前年同月比の推移 ※5



※1 沖縄本島協力バス事業者のバス乗車人数計

※2 【無料日】9/4、9/11、9/18、9/25の水曜日平均、【有料日】9/3、9/10、9/17、9/24の火曜日平均

※3 【無料日】9/8、9/15、9/22、9/29の日曜日平均、【有料日】9/1、9/16、9/12の日祝日平均

※4 【無料日】無用日8日間平均、【有料日】無料日以外の9月の22日間平均

※5

バス乗客数：沖縄本島協力バス事業者のバス乗車人数計

モノレール乗車人数：沖縄県 乗車人数の推移

入域観光客数：令和6年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

【精査の結果、変更の可能性あり】



1. 沖縄県の概況

2. バス関連

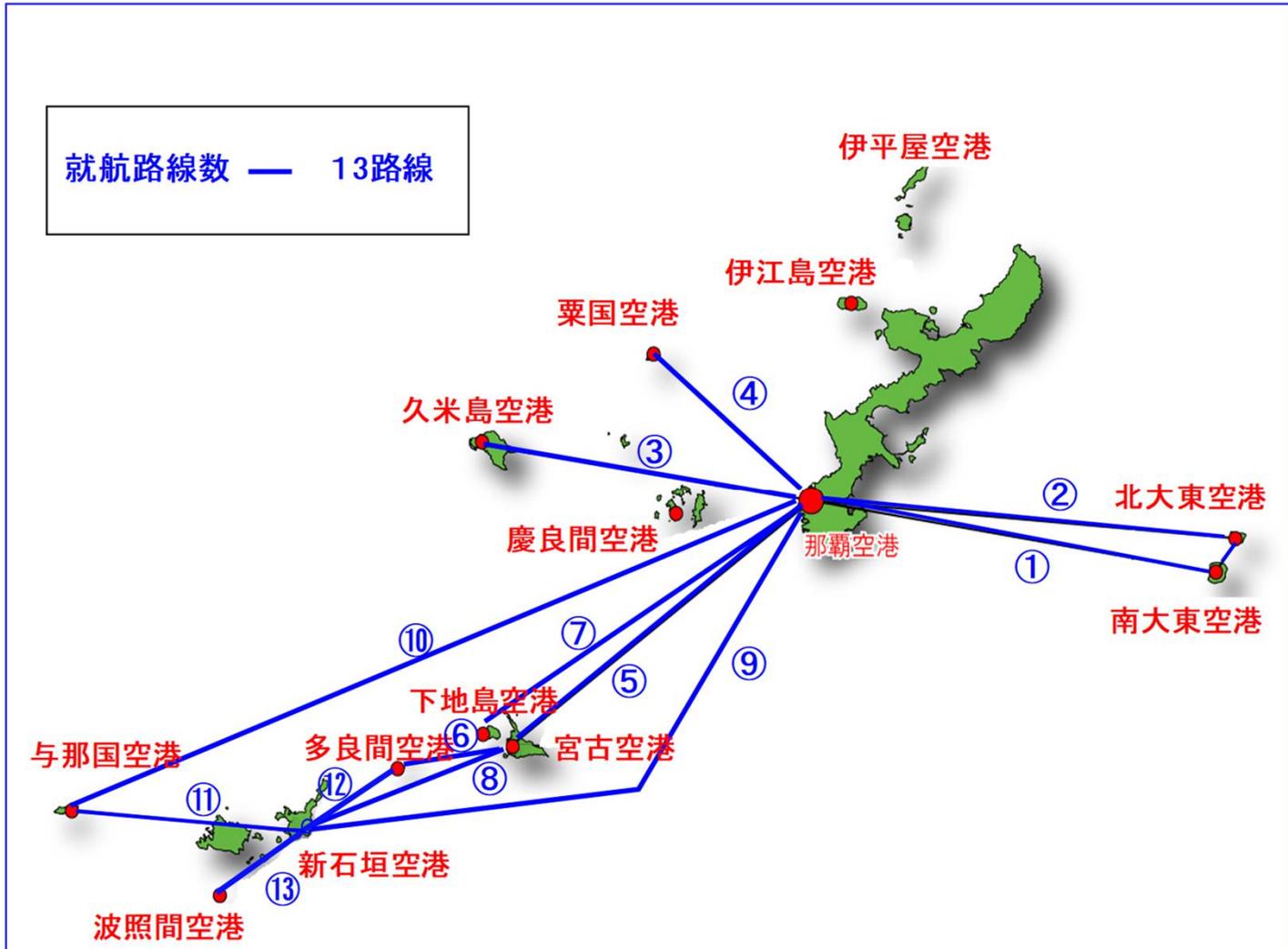
3. 離島航路・航空路関連

4. 鉄軌道関連

沖縄県内 離島航空路線一覧 (令和7年4月現在)



	路線	運航会社 ※1	往復数 (日)
①	那覇—北大東	RAC	1
②	那覇—南大東	RAC	2
③	那覇—久米島	JTA	1
		RAC	5
④	那覇—粟国 (不定期)	DAK	週3
⑤	那覇—宮古	JTA	8
		RAC	1
		ANA	6
⑥	宮古—多良間	RAC	2
⑦	那覇—下地島	SKY	2
⑧	宮古—石垣	RAC	3~4
⑨	那覇—石垣	JTA	7
		RAC	0.5
		ANA	6
		SNA	3
⑩	那覇—与那国	RAC	1.5
⑪	石垣—与那国	RAC	2.5~3.5
⑫	石垣—多良間	DAK	週2
⑬	石垣—波照間	DAK	週3



※1 運航会社

- J T A = 日本トランスオーシャン航空 (株)
- R A C = 琉球エアコミューター (株)
- A N A = 全日本空輸 (株)
- S N A = (株) ソラシドエア (Aとコードシェア)
- D A K = 第一航空 (株)
- S K Y = スカイマーク (株)

※空港

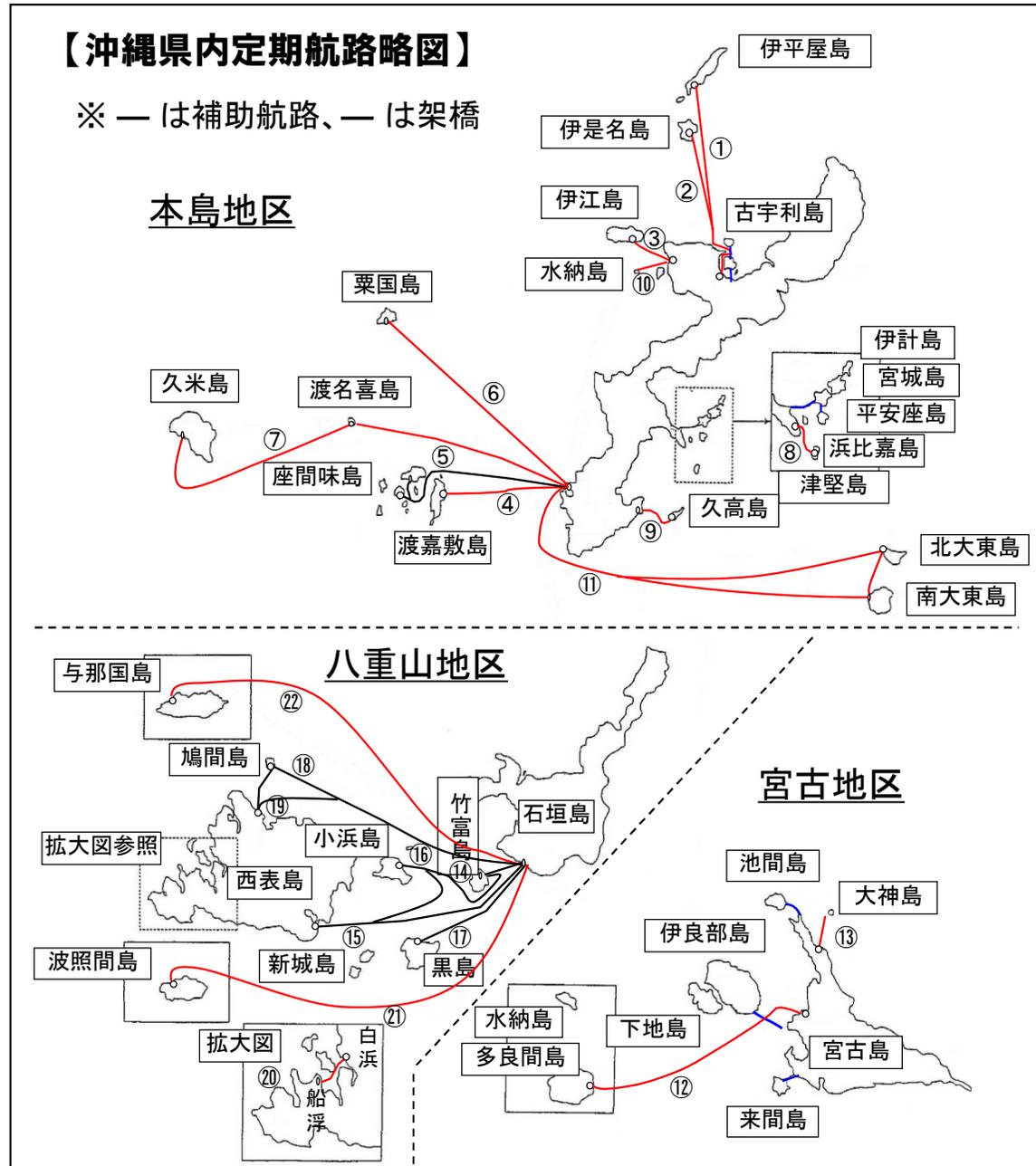
- ・拠点空港 (国管理) ……那覇空港
- ・県管理空港……………12空港

R7年度離島航路(22航路)一覽



本島地区		
①	補助①	伊平屋(前泊)～運天
②	補助②	伊是名(仲田)～運天
③	補助③	伊江～本部
④	補助④	泊～渡嘉敷
⑤	対象外	泊～座間味
⑥	補助⑤	泊～栗国
⑦	補助⑥	泊～渡名喜～久米島(兼城)
⑧	補助⑦	津堅～平敷屋
⑨	補助⑧	久高(徳仁)～安座真
⑩	補助⑨	水納～渡久地
⑪	補助⑩	泊～南・北大東

宮古・八重山地区		
⑫	補助⑪	平良～多良間
⑬	補助⑫	大神～島尻
⑭	対象外	石垣～竹富
⑮	対象外	石垣～大原
⑯	対象外	石垣～小浜
⑰	対象外	石垣～黒島
⑱	対象外	石垣～鳩間
⑲	対象外	石垣～上原
⑳	補助⑬	船浮～白浜
㉑	補助⑭	石垣～波照間
㉒	補助⑮	与那国(久部良)～石垣



支援例

- ① 新型コロナに伴う大幅な収入の落ち込みに加え、円安や燃料費高騰等の影響を受けて、離島航空路線を運航する航空運送事業者の経営は非常に厳しい状況。
 - ▶ 燃料や整備費高騰分の費用を支援
- ② 離島住民のライフラインである離島航路において、船員不足が生じている。
 - ▶ 船員を知ってもらうため、高校生等の体験乗船を実施
 - ▶ 船員の資格取得等を支援
- ③ 離島住民は本島住民と比較し、船舶や航空機など交通コストが割高。
 - ▶ 定住条件の厳しい県内離島について、航路事業者、航空事業者、市町村及び県が連携し、離島住民等の割高な船賃及び航空運賃を低減することで、移動に伴う負担を軽減。

等



1. 沖縄県の概況

2. バス関連

3. 離島航路・航空路関連

4. 鉄軌道関連

沖縄鉄軌道構想

構想段階における計画[平成30年5月]

【起終点】 那覇 ~ 名護

【経由市町村】

- 那覇市
- 浦添市
- 宜野湾市
- 北谷町
- 沖縄市
- うるま市
- 恩納村
- 名護市

概略計画図



各区間の所要時間（試算）

